

江戸時代の出版事情

富士山かくや姫ミュージアム・富士市立富士文庫コレクション展

Publication Situation
In The Edo Period



宮崎安貞「農業全書」元禄10年(1697) 富士市立富士文庫蔵



「五十三次道中画譜」天保6年(1835) 当館蔵



〔第1期〕

4/26^土 - 6/29^日

〔第2期〕

7/1^火 - 8/17^日

観覧
無料



十返舎一九「東海道中膝栗毛」享和2~文化11年(1802-14) 当館蔵

富士山かくや姫ミュージアム

会場/本館2階 特別展示室⑤ 開館時間/9:00~17:00

休館日/月曜日(祝休日は開館)、祝休日の翌日、燻蒸期間(6/24~27)



ふじかくやちゃん

令和7年度夏のテーマ展
Publication Situation
In The Edo Period

江戸時代の

出版事情

富士山かくや姫ミュージアム・
富士市立富士文庫コレクション展

戦国の世が終わり平和な江戸時代になると、人々は教養を得るために読書をするようになり、また、この背景には木版製本により、大量に商品として書籍が出版されるようになったことをはじめ、各地で和紙の生産が行われるようになったこと、作られた和紙や書籍を各地へ運ぶ流通網が整備されたこと、人々の識字率が向上したこと、都市部を中心に本屋（書肆）が増加したことがあります。この結果、江戸時代には「ベストセラー」と呼ばれる本が誕生することとなりました。出版された書籍も多様なジャンルに分かれ、教養を深める歴史書や思想書、実用的な農業書や健康書、史実をもとに創作された物語や人の喜怒哀楽を描いた小説などがありました。本展示では、富士山かくや姫ミュージアムと富士市立富士文庫が所蔵する江戸時代に出版された書籍を展示するとともに、当時の政治の動向や社会情勢についてもご紹介します。

スゝカの育て方



宮崎安貞「農業全書」(西瓜部分) 元禄 10年 (1697) 富士市立富士文庫蔵

「おのおのがた...」



深淵子武矩「赤穂義臣傳序」 享保 4年 (1719) 富士市立富士文庫蔵

VS. あやししい浪人



十返舎一九「東海道中膝栗毛」(吉原挿絵部分) 享和 2~文化 11年 (1802-14) 当館蔵

イベント情報

▼5月の博物館の日関連ワークショップ「和綴じ本づくり」
・古来より日本で使われてきた糸綴じの製本でオリジナルの和綴じ本を作ります。
日時 5月4日(日) 10時・11時・13時
会場 博物館陶芸室 定員 各回15名 料金 1人300円
対象 一般小学4年生以下は保護者同伴
申込 事前申込不要、当日会場にてお申し込みください。

▼博物館講座「『東海道中膝栗毛』はココがおもしろい!」
・江戸時代の大ベストセラーで、滑稽本として有名な『東海道中膝栗毛』。そのおもしろポイントを担当学芸員がわかりやすく解説します。
日時 7月6日(日) 10時・12時
会場 博物館講座室 料金 無料
定員 30名(先着順) 対象 一般
申込 6月15日(日) 9時から受付開始。
電子申請にてお申し込みください。

▼ギャラリートーク
日時 5月6日(火・振休)、6月8日(日)、7月13日(日)、8月17日(日) いずれも14時~30分程度
申込 申込不要。展示室⑤前にお集まりください。

